

事業所における自己評価結果（公表）

公 表 : 令和4年3月31日

事業所名 : 障がい者サポートセンターあおぎり 放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか。	○			新しい建物なので十分な広さがある。 人数によっては、相談室を活用し3グループに分けて活動している。
	②	職員の配置数は適切であるか。		○		配置基準は満たしていたが、育休などで減員となった。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか。	○			玄関にはスロープあり。玄関と廊下、各部屋の段差無し。障害者用トイレ設置。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	○			計画・実践・評価を定期的実施している
	⑤	保護者向け評価表を活用評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者当の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			事業所評価以外のアンケートを実施している。回収後、改善案と共に結果を利用者に配布している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか。	○			法人のホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	今後実施を検討する必要がある
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。		○		コロナの影響により、法人内の人員交流研修は減少した。外部研修も同様である。。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			定期的なアセスメント・モニタリングを行い、ニーズや課題の把握に努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○		事業所内では発達検査や知能検査は実施していないが、医療機関で受けた検査結果を使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		担当者ごとに立案し、職員全体での意見交換にて修正している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を細やかに設定して支援しているか。	○			平日は軽作業や運動、制作を取り入れや訓練的な活動を実施。長期休暇は外出活動を多くし、生活体験や社会体験の幅を広げるなど、多側面から支援を行っている。。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			利用児の特性に合わせて、集団活動や個々の対応について作成するように努めている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			毎回、必ず打ち合わせをして、職員の配置、動き、活動の進め方、注意点を共有している。。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○			必ず振り返りを行い、職員全員が気づきや意見を出し合い、情報共有を行っている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			各児童の様子や支援内容を記録している。定期的に記入漏れがないかをチェックしている。
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			年1~2回モニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。		○		自立支援・創作活動・身体運動など実施しているが、地域交流がコロナの影響もあり不十分だと感じている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			児童発達支援管理責任者、もしくは担当者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			学校ごとの年間行事、学年ごとの行事予定表を収集し、送迎等の時間を決定している。非常時の優先連絡先を第3位まで設定している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。				該当なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			初回利用前に情報交換を行うとともに、その後も必要に応じて情報の共有を図っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				各事業所へアセスメントの結果を送っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			受けていません。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか。			○	交流を行いたい、コロナ感染予防の為、そういう機軸を設ける事を自粛している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			児童部会に参加している。
	㉘	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況やかだいについて共通理解を持っているか。	○			送迎時に児童の様子や課題について、積極的に保護者に伝えている。保護者からも、家庭や学校での様子を聞き取るようにしている。時間が取れない場合は連絡ノートを活用する。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。			○	行っていない。時間的な余裕がない。職員が児童への対応の一助とするためにペアレントトレーニングの研修は必要と考える。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に、書面と口頭で説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			連絡ノートや送迎時、また、電話にて対応している。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	保護者会自体が組織されていない。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情の窓口を設置。意見を出しやすいよう第三者の窓口も設定している。意見があった場合、受付書を作成し、状況調査など迅速な対応を心がけている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月、活動内容と児童の様子をおたよりとして配布している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか。	○			PCへのデータ保存は禁止。ネット上のVPNにて保管。アクセス権限を職員ごとに設定し、情報の閲覧に制限をかけている。

	⑩⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			イラストや文字などを用いて、理解しやすいように丁寧に伝えるよう努めている。	
	⑩⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	コロナ感染防止の観点から、難しいと考えている。	
非常時の対応	⑩⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。			○	マニュアルを玄関に掲示したり、契約時に説明を行ったりしているが、あまり浸透していないため、定期的に確認を行うことが必要である。	
	⑩⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			児童の活動の中に避難訓練を取り入れている。	
	⑩⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか。	○			年1回、虐待防止研修を行っている。	
	⑩⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			○	現在身体拘束が必要な児童はいない。事前に想定できる場合は、保護者の承諾を得て、計画に記載していく。自傷・他害のある児童が不安定になった場合の対処方法について、留意点をまとめ職員全員で共有している。	
	⑩⑫	アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか。				○	保護者からの聞き取りにてアレルギーの状況を把握。基本的に給食の提供はないが、弁当購入時などに把握した情報を参照している。
	⑩⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○				積極的にヒヤリハットを作成するとともに、職員間で情報共有している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表日：令和4年3月31日
事業所名：障がい者サポートセンターあおざり 放課後等デイサービス

※一部空欄の項目があり、合計20にならない項目がある。
※「ご意見」は意識して表記しています。

保護者等数(児童数)31名 回収数20名 回収率65%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	2		・建物が新しく、十分なスペースが確保されています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	6		・育児、休職などで年度当初より職員数が減っていて不安に感じている。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	2		
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	16	2		・モニタリング時などで話をよく聞いてもらっています。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	4		・人とのやりとり、軽作業や制作・運動など、たくさんの工夫を下さっている。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	10	4	・現状ではありません。 ・感染予防の為、そういう交流が少なくなるのは仕方ないと思う。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	2		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	14	5		・連絡ノートで日々の様子を伝えている。返信もあり、満足している。 ・職員とじっくり話が出来る時間がもう少し欲しい。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	2	2	・モニタリング時に学校や家庭での状況をしっかり聞いてくれ、助言をもらっている。 ・職員の入れ替わりがあり、十分な相談が出来ない。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	3	10	・そういう場所がない。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	7	1	・苦情ではないが、意見を伝えた際にすぐに対応してくれている。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	4		・SMSでの連絡が便利。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	6		
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	17	1	1	
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	1	2	
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	7	1	・活動の中に避難訓練が盛り込まれています。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしていますか	13	6		・しんどくなった時に、気分転換的に利用をしているようです。助かっています。 ・活動の内容を嬉しそうに話すことが増えています。
	⑱ 事業所の支援に満足していますか	16	2		